

**令和6年度 魅力ある田園地域づくり**  
**～ビジョン&プロトタイプ創出事業～**

**事業説明会**

2024/08/07

1. ご挨拶・事務局紹介
2. この事業が目指す「田園地域」について
3. ビジョン作成支援コースの概要
4. 実証実験支援コースの概要
5. 事業のスケジュールと申請について
6. 審査基準について

# 1 . ご挨拶・事務局ご紹介

---

この事業が生まれた背景を、富山県の現状と併せてご説明いたします。

## 「世界が憧れる田園地域」創出を目指す

富山県では、人口減少が進む中、新しい富山県のさらなる発展に向けて、

「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」を掲げる「富山県成長戦略」を令和4年2月に策定しました。

人口減少により、社会インフラの縮小や地域の美しい景観、歴史、文化、産業の維持が困難になるなど、

田園地域の求心力の低下が懸念されています。

こうした課題を克服するため、「持続可能な魅力ある田園地域創出事業」を通じて、

地域資源を活用した地域の求心力や生業の創出に向けた地域のビジョンづくりや実証実験の支援等を行うことにより、

「世界が憧れる田園地域」の創出を目指しています。

本事業では「伴走事務局」を設置し、支援対象者様を伴走支援いたします。

富山県知事政策局 成長戦略室 戦略企画課

支援対象者様

伴走事務局

北陸博報堂・博報堂

- 事業統括
- 伴走支援
- ご連絡窓口（伴走支援期間）

北日本新聞開発センター

- 応募書類受付
- ご連絡窓口（公募期間）

株式会社北陸博報堂：事業統括／伴走支援／ご連絡窓口（伴走支援期間）

・HAKUHODO・  
北陸博報堂



【会社概要】

(株)博報堂100%子会社

2005年4月博報堂北陸支社を母体に分社化

設立 2005年（平成17年）4月1日

資本金 3億50百万円

代表取締役 開上 真樹

本社 〒920-0919石川県金沢市南町4-1

金沢ニューグランドビル2F

支社 〒930-0858富山県富山市牛島町1-8-7

アーバンプレイス7階

## 株式会社北日本新聞開発センター：応募書類受付／ご連絡窓口（公募期間）



### 【会社概要】

- 所在地 〒930-0094 富山市安住町2-14
- 電話 TEL (076) 445-3588 FAX (076) 431-1915
- 設立 1957年7月
- 代表者 代表取締役社長 佐伯 欣宣
- 資本金 1,000万円
- 事業内容 広告代理業、旅行業、編集・出版事業、損害保険代理業

全国各地で地域ブランディングや観光地再生・高付加価値化など  
大型プロジェクトを手掛けてきたプロデューサーが伴走支援を統括します。



山口 綱士 Tsunashi YAMAGUCHI

株式会社HAKUHODO DESIGN 代表取締役共同CEO

株式会社博報堂 ソーシャルイノベーション局、地方創生ビジネス推進室

専門：ブランディング、事業開発支援、組織設計支援、地方創生

主な活動実績



東京都 海外向け観光ブランディング  
ブランドコミュニケーション戦略策定

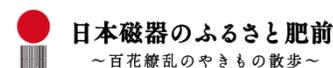


観光庁 観光地の高付加価値化事業  
事業制度設計、観光地ビジョン策定支援



想像をこえる、  
新潟がある。

日本全国各地での地域活性化支援  
(戦略・計画策定、活動体設計支援など)



400年熟成観光地。



ソラヤマ  
いしづち  
SORAYAMA  
ISHIZUCHI

## 2 . この事業が目指す「田園地域」について

---

富山県が創出を目指す「世界が憧れる田園地域」の定義についてご説明します。  
本事業では、このような地域の創出を目指して活動していただける方を募集・支援いたします。

## 「世界が憧れる田園地域」とは

美しい景観があり、  
文化、歴史、習わしなど  
地域ならではのストーリーの魅力  
に興味関心を持った人が  
地域を訪れて体験し、深く実感できる

人と自然が共生し、  
地域の求心力とその時代に合った  
生業（なりわい）が新たに生み出されて  
いく地域・場所



「世界が憧れる田園地域」創出に向けては、段階を踏んで、長期的な取り組みが必要となります。本事業では支援対象者様の実情に合わせて支援を行います。

ビジョン作成支援

実証実験支援

来年度以降の取り組み方についてもアドバイスを行います

01

持続的な活動を可能にするビジョン作成

- 1-1. 同じ志を持つ仲間集め
- 1-2. 現状分析・課題抽出
- 1-3. 地域や周辺ステークホルダーとの合意形成
- 1-4. チームのビジョン策定

02

ビジョン実現に向けたアクションの実施

- 2-1. ビジョンに基づいた施策立案
- 2-2. 現状分析・課題抽出
- 2-3. マーケットの把握
- 2-4. 実行と効果測定
- 2-5. 施策のブラッシュアップ

03

「世界が憧れる田園地域」の創出

地域の求心力とその時代に合った生業を創出することで、持続的な関係人口の増加に繋げる

「世界が憧れる田園地域」創出に向けて、本事業では支援対象者様の実情に合わせた支援を展開すべく、2つの支援コースをご用意しております。



「世界が憧れる田園地域」づくりにつながる地域のビジョンづくりと、そこに向けたチームビルディング等の伴走支援を行います。



魅力ある地域資源を活用した、持続可能な生業を創出する実証実験への伴走支援を行います。

# 3

## . ビジョン作成支援コースの概要

---



ビジョン  
作成支援  
コース

「世界が憧れる田園地域」づくりに  
つながる地域のビジョンづくりと、  
そこに向けたチームビルディング等  
の伴走支援を行います。

このコースでは「世界が憧れる田園地域」創出に向けたビジョンづくりを支援します。

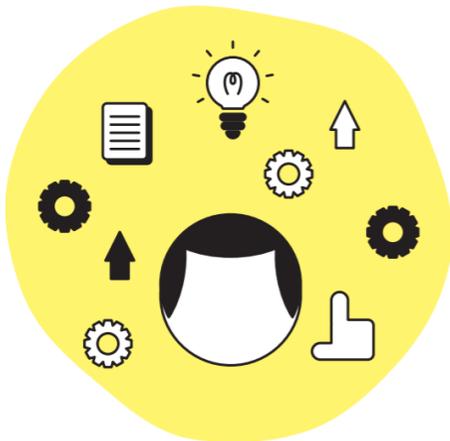
**地域内で合意形成されたビジョン（将来のあるべき・ありたい姿）**があることで、目指す姿の達成に向けて取り組むべき具体構想・活動方針を整理することができるようになります。

## ビジョンとは？

将来のあるべき姿、ありたい姿を描いたもの。

追求する理想、目指す方向性。

「何を目指すか」



ビジョン作成支援コースでは主に、地域を活性化したくてもどう行動すればよいか分からない方に向けた支援を行います。



地域的な問題に気付いて、どうにか解決したいと熱い想いを持っているけど、何から行動して良いか分からない。



以前は賑わいがあったけど、近年は人が減ってしまっている。  
以前の賑わいを取り戻したい！



キラリと光る魅力的な地域資源があるけど、消滅しそうな危機に瀕している！しかし、どう活かして良いのかわからない。

ビジョン作成支援コースでは主に、地域を活性化したくてもどう行動すればよいか分からない方に向けた支援を行います。



地域的な問題に気付いて、どうにか解決したいと熱い想いを持っているけど、何から行動して良いか分からない。



以前は賑わいがあったけど、近年は人が減ってしまっている。以前の賑わいを取り戻したい！



キラリと光る魅力的な地域資源があるけど、消滅しそうな危機に瀕している！しかし、どう活かして良いのかわからない。



目前の問題に対処療法で取り組んだとしても、持続的な地域活性化への道筋はなかなか見えてきません。

地域内で合意形成されたビジョン  
(将来のあるべき・ありたい姿) を  
しっかりと定めることで

- 地域の何を変えるべきか。何を新たに作り育てるべきか
- いつまでにどのような状態を目指すか
- 地域内で誰が何に取り組むかなどを整理・検討することが可能に。

支援対象者様の現状を把握した上で、必要な支援をおこないます。

「地域資源を活用した魅力ある田園地域の創出に向けた、地域でのビジョンづくり」を進めていただくために、下記の活動等を伴走支援します。

地域の巻き込み  
(関係者へのヒアリング・  
話し合い)

地域資源の調査

地域内外の  
ステークホルダー  
向け研修

地域資源の魅力を  
検証する  
イベント

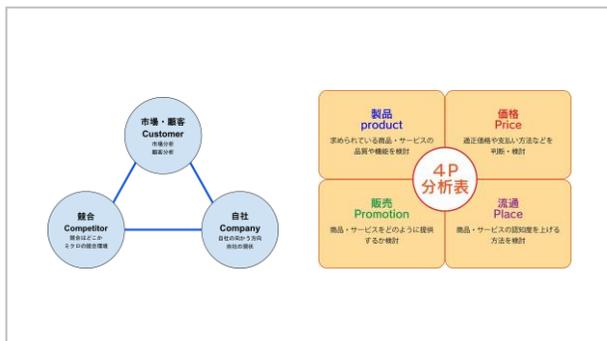
支援内容： 活動内容に応じた事務局の伴走支援、必要に応じて専門家からの助言  
(活動資金の支援はありません)

支援期間： 支援対象者として選定通知を受けた日から、令和7年2月28日まで



# 伴走支援を通じてビジョンづくりに必要なノウハウを幅広く提供します。

## マーケティング視点 3C分析/4P分析/SWOT分析



## 合意形成 ワークショップ



## 定性・定量調査



## フィールドワーク 街の魅力発見



## デスクリサーチ

徳島県の人口（徳島県推計人口）  
2024年5月31日

■ 徳島の人口（徳島県推計人口）

徳島県推計人口は、直近の国勢調査結果確定値を基礎として、これに毎月の住民基本台帳法及び戸籍法の定みの月間出生数を加減し、毎月1日現在の県内市町村の人口及び世帯数を推計したものです。

結果項目のうち転入・転出数は、県内市町村間の移動のみを扱います。

※外国人住民が住民基本台帳法の適用対象外であった平成24年7月9日以前の移動状況については、住民基本台帳法及び外国人登録法（平成24年7月9日廃止）に基づき移動状況を推計しています。

※令和2年、平成27年、平成27年、平成17年の10月1日現在の人口・世帯数は、国勢調査結果確定値となります。

※令和2年11月以降の推計人口・世帯数等は令和2年国勢調査結果確定値（令和3年11月30日公表）を基礎として、推計したものです。

■ 最新の調査結果（令和6年5月1日現在）

（単位：人・世帯）

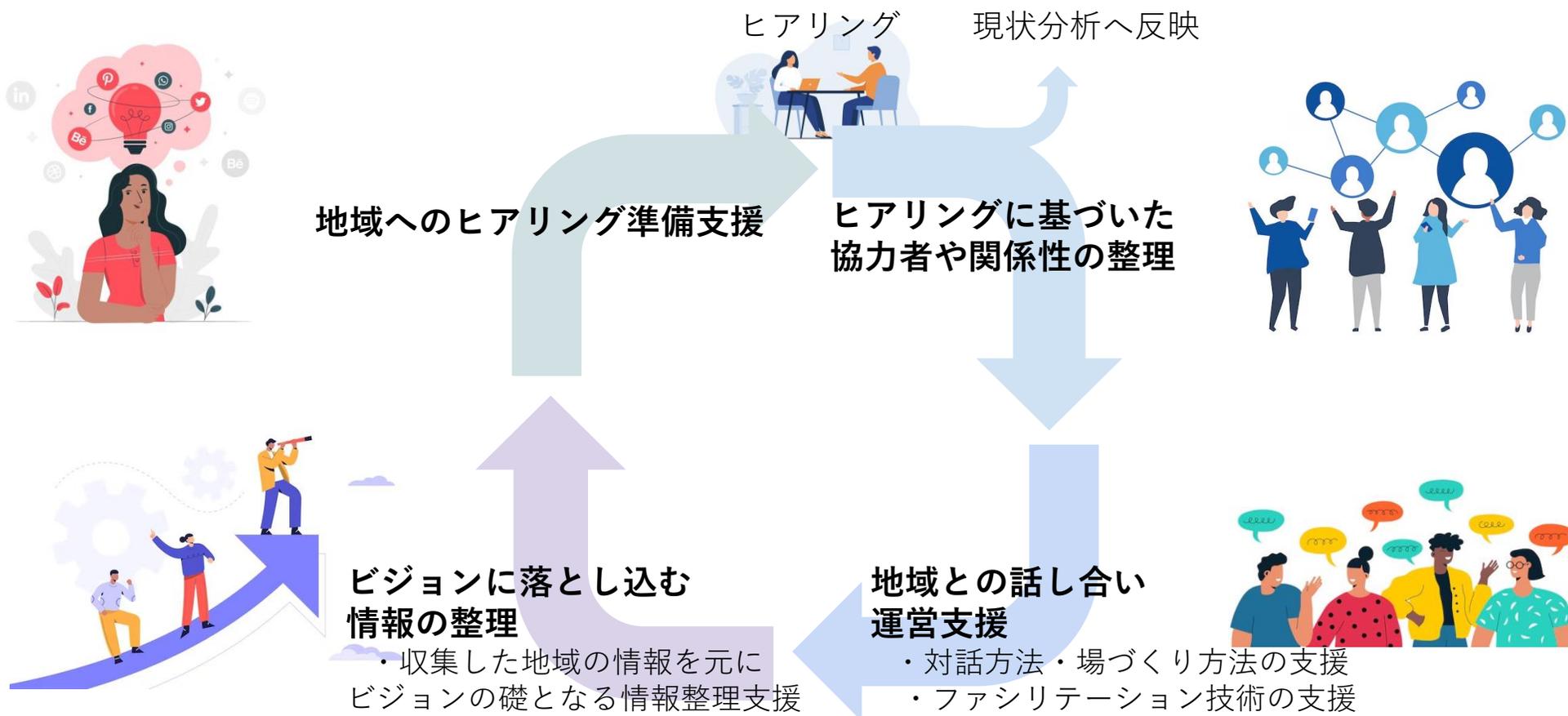
年月日	総数	男	女	世帯数
令和6年5月1日	688,343	329,338	359,005	309,971
令和6年4月1日	688,373	329,264	359,109	309,184
令和6年3月1日	691,072	330,581	360,491	309,239

## 未来洞察視点



ビジョンづくりにおいて重要となる、関係者を巻き込みながら共に作り上げていくプロセスを、ステップに基づいて支援します。

<活動例：地域の巻き込み>



現状の課題や地域に関わる関係者の思いなどを整理し、世界が憧れる田園地域創出に向けたビジョンにまとめていきます。

その後、ビジョン達成に向けて取り組む具体構想・活動方針（コンセプト）の作成、具体的な施策の計画へと移っていきます。



ビジョン/コンセプト  
検討フォーマット事例



### ビジョン

2030年、私たちの地域は \_\_\_\_\_ という姿になっている。

そこでは、 \_\_\_\_\_ という人が、

\_\_\_\_\_ という特別な体験を楽しんでいる。



### コンセプト

ビジョンを実現するために、

この地域が持つ \_\_\_\_\_ という独自性を活かせる。

さらに、私たちはこれから新たに \_\_\_\_\_ に取り組む。

そうすると、他の地域にはない \_\_\_\_\_ という魅力が生まれる。

# 4

## . 実証実験支援コースの概要

---



実証実験  
支援  
コース

魅力ある地域資源を活用した、  
持続可能な生業を創出する実証実験  
への伴走支援を行います。

このコースでは、世界が憧れる田園地域創出に必要な「魅力ある地域資源を活用した持続可能な生業」のプロトタイプとなり得る実証実験を支援します。

魅力ある田園地域につながる地域資源等を、持続可能な地域の求心力と地域の収益を生み出す事業に成長させる実証実験をおこなっていただくために、様々な角度から支援対象者様の現状や課題を分析し、事業内容をブラッシュアップしていきます。



実証実験支援コースでは主に、既に活動のビジョンやチームが出来ていても、そのビジョン実現に向けての具体的な課題に直面している方に向けた支援を行います。



社会課題解決の筋道が見えているけど、実行ノウハウや人的リソースが足りないためにスピード感がなくて困っている。



課題がしっかり見えていて心強い仲間もいる。しかし、活動をスタートさせる資金が足りなくて困っている。

実証実験支援コースでは主に、既に活動のビジョンやチームが出来ていても、そのビジョン実現に向けての具体的な課題に直面している方に向けた支援を行います。



社会課題解決の筋道が見えているけど、実行ノウハウや人的リソースが足りないためにスピード感がなくて困っている。



課題がしっかり見えていて心強い仲間もいる。しかし、活動をスタートさせる資金が足りなくて困っている。



持続可能な地域づくりには**地域資源を活用した持続可能な新たな生業の創出**が不可欠です。

新たな生業が地域に新たな求心力と収益を生み出し、地域活性化につながります。

新たな生業創出には、スピード感をもった**トライアル+検証**が必要です。その実施には**ノウハウや資金**も必要となります。

本事業では伴走支援を通じて、**生業創出の実証実験に必要なノウハウ支援・資金支援**をおこないます。

本コースにおいては、富山県と業務委託契約を締結いただき、当該実証実験に係る費用を一部支援（上限300万円）。さらに事業内容に応じて必要となる事務局の伴走支援および専門家からの助言を提供します。

「魅力ある地域資源を活用した持続可能な生業を創出する実証実験」を進めていただくために、下記の支援をおこないます。

### ノウハウ支援

支援内容：  
事業内容に応じた事務局の伴走支援、必要に応じて専門家からの助言

支援期間：  
業務委託契約締結日から  
令和7年2月28日まで



### 資金支援

実施事業について富山県と当該実証実験を行う業務委託契約を締結。本契約に基づき、当該実証実験に係る費用を一部支援。

上限額 1 支援対象者あたり300万円



※対象経費：人件費、報償費（謝礼等）、旅費、需用費（消耗品購入費等）、役務費（通信費等）、委託料、使用料及び賃借料が対象。資産性のある機器・備品購入費は対象外

より効果的な実証実験を実施していただくために、伴走を通じて事務局および専門家からの幅広い支援をおこないます。

### 実証実験計画ブラッシュアップ支援

現状を分析した上で、ビジョンを実現する上での課題抽出やコンセプトの見直し等を行い、実証実験の実行計画のブラッシュアップ支援を行います。



現状分析



課題抽出



コンセプト策定



ターゲット設定

### 計画練り上げ・実施時のファシリテーション支援

実証実験の計画練り上げ時および実施・検証時において地域内外の関係者と議論・合意形成が必要となる場合に、必要に応じてファシリテーション支援を行います。



### マーケティング/ブランディング戦略策定支援

実証実験内容に応じて、マーケットの調査や訴求方法のアドバイスなどの「売れる」ための支援を行います。商品・サービス等のメッセージ開発支援、コンセプトのブラッシュアップ、ブランド戦略策定支援等も行います。



### 資金調達アドバイス

活動をスタート・継続させるための資金調達支援として、地元金融機関との繋ぎこみや、クラウドファンディングのアドバイス等を行います。



# 5

## . 事業のスケジュールと申請について

---

募集は8/22〆切、支援対象決定は8月下旬頃を予定しています。  
9月中旬頃～1月の約5か月間の伴走支援の後、2月の成果報告会をもって本事業の伴走は終了となります。



ビジョン作成支援コースに応募される方は「別紙2」を記入し、8/22までにWEBサイト上の申し込みフォームからご応募ください。

<別紙2>

<p><b>応募動機</b></p>	
<p><b>地域の現状と課題</b></p>	<p>(1) 地域の現状や特徴</p> <p>(2) 地域の課題</p> <p>※活用したいと考えている地域資源に関しても記載してください。</p>
<p><b>現時点で目指したいと考えている地域の未来像</b></p>	
<p><b>事業内容</b>                  (どうやってビジョンづくりを進めていく予定か記載してください。方法・協議相手・頻度、スケジュール等)</p>	<p>※ビジョンづくりの過程で、UIターン者や関係人口等の地域外に居住した経験を持つ者の視点を取り入れる工夫をしている場合は、記載してください。</p>
<p><b>ビジョン作成後の取組み予定</b>                  (来年度以降、どのようにビジョンを活用していきたいか記載してください)</p>	
<p><b>実施体制</b>                  (申請時点での申請者の体制、協力してくれる人物・団体等と役割分担のイメージを記載してください)</p>	
<p><b>今後ビジョンづくりをするうえで一緒に協議したい人物・団体</b></p>	

実証実験支援コースに応募される方は「別紙3」「別紙4」（収支計画書）を記入し、8/22までにWEBサイト上の申し込みフォームからご応募ください。

<別紙3>

<p><b>応募動機</b></p>	
<p><b>地域の現状と課題</b></p>	<p>(1) 地域の現状や特徴                  (2) 地域の課題                  ※活用したいと考えている地域資源に関しても記載してください。</p>
<p><b>目指している地域のビジョン</b></p>	
<p><b>事業内容・目標値</b>                  (今回の実証実験で目指す成果とその目標値、実証内容、スケジュール等)</p>	<p>(1) 目指す成果と目標値                  (2) 実証実験の内容                  (3) スケジュール</p>
<p><b>地元自治体等との調整状況</b>                  (実証実験の対象地域におけるステークホルダーとの調整状況を記載してください。相談済み、協力了承済み、等)</p>	
<p><b>実施体制</b>                  (申請者の体制、実証実験に協力してくれる人物・団体等と役割分担のイメージを記載してください)</p>	

実証実験支援コースでは、富山県と締結する業務委託契約に基づいて、当該実証実験にかかる費用を支援します。

**上限額** : 1支援対象者あたり300万円

**対象経費** : 委託費用は、実証実験に必要となる人件費、報償費（実証実験協力者等への謝礼など）、旅費、需用費（消耗品購入費など）、役務費（通信費など）、委託料、使用料及び賃借料が対象です。ただし、資産性のある機器・備品の購入にかかる費用は対象となりません。

# 6 . 審査基準について

---

ビジョン作成支援コース

(100点満点)

審査項目		審査の観点	配点
1	事業趣旨	事業趣旨に合致したビジョンの作成を目指しているか	15点
2	事業内容(1)	目指しているビジョン作成を達成できる実施内容となっているか（頻度、活動の内容）	20点
	事業内容(2)	地域ならではの資源の活用を想定できているか	15点
	事業内容(3)	作成したビジョンが有効に活用される見通しとなっているか	15点
	事業内容(4)	地元のステークホルダーの巻き込みが図られているか	20点
3	実施体制	効果的なビジョン作成ができる構成か <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョン作成の過程で、UIIターン者や関係人口等の地域外に居住した経験を持つ者の視点を取り入れているか</li> <li>・実施体制に、40歳以下の若い世代または女性が入っており、多様な意見が反映される体制となっているか</li> </ul>	15点

実証実験支援コース

(100点満点)

審査項目		審査の観点	配点
1	事業趣旨	事業趣旨に合致した活動のビジョンを持っているか	15点
2	事業内容(1)	ビジョンの達成に向けた目標設定が適切か	15点
	事業内容(2)	支援対象者の持つビジョンの実現に向けた効果的な実証実験となっているか	20点
	事業内容(3)	自走につながるスケジュール・取組みとなっているか	20点
	事業内容(4)	必要なステークホルダーとの調整がされているか	15点
3	実施体制	継続的にビジョン実現を目指す体制となっているか ・実施体制に、40歳以下の若い世代または女性が入っており、多様な意見が反映される体制となっているか	15点